



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9075 URL <http://www.fukutsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務担当 (氏名) 桑本 聡 TEL 084-924-2000
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	144,885	4.5	11,211	15.8	11,716	8.5	7,268	△2.7
2019年3月期第2四半期	138,626	7.6	9,679	85.3	10,801	82.0	7,470	93.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,967百万円 (△20.2%) 2019年3月期第2四半期 9,985百万円 (36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	145.39	—
2019年3月期第2四半期	146.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	445,284	257,073	56.9	5,172.21
2019年3月期	439,893	252,377	56.6	4,961.67

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 253,524百万円 2019年3月期 248,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	293,200	2.6	20,200	3.7	21,300	△1.2	13,100	△12.4	262.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	55,770,363株	2019年3月期	55,570,363株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,067,505株	2019年3月期	5,617,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	49,995,261株	2019年3月期2Q	50,909,968株

※株式付与E S O P信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております（2019年3月期2Q153,000株、2020年3月期2Q152,742株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2019年11月12日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移を辿っておりましたものの、一方では、長期化する米中貿易摩擦の動向などの世界経済への影響が懸念されるなど、先行きの不透明な状況が続いてまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、人材確保に向けた労働環境の改善や安全対策などコスト増の要因が山積しており、依然として厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、企業間物流における輸送品質の向上と適正な運賃・料金の収受につとめ、生産性の向上を目指した業務の効率化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,448億85百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は112億11百万円（前年同四半期比15.8%増）、経常利益は117億16百万円（前年同四半期比8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億68百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、9月に青森むつ営業所（青森県）を開設し、輸送品質向上のための集配拠点の整備を進めてまいりました。また、運賃・料金の契約内容の見直し及び新サイズ運賃の適用と荷物自動仕分機の導入による集配業務の作業の効率化にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,278億28百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は103億42百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

流通加工事業におきましては、前期同様に料金改定及び既存施設の稼働率の向上による収支改善や新規案件の開拓に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は87億26百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は12億75百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

国際事業におきましては、ASEAN域内でのクロスボーダートラック輸送は順調に推移いたしました。米中貿易摩擦の影響もあり中国・東南アジアからのフォワーディング事業及び通関事業の取扱い件数が鈍化し低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は43億73百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は2億47百万円（前年同四半期比14.3%減）となりました。

その他事業におきましては、物品販売事業が堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は39億56百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益は13億47百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて53億91百万円増加し4,452億84百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少により流動資産が70億7百万円減少しましたが、有形固定資産が112億23百万円増加したことや、投資有価証券の時価評価による増加などにより投資その他の資産が11億75百万円増加したことによります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて6億96百万円増加し1,882億11百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて46億95百万円増加し2,570億73百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加により株主資本が40億4百万円増加したことや、その他包括利益累計額が6億77百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ44億91百万円減少し222億51百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に法人税等や仕入債務の支払により資金が減少しましたが、売上債権の減少や税金等調整前四半期純利益により120億58百万円の資金収入(前年同期は114億84百万円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出により180億67百万円の資金支出(前年同期は72億40百万円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に自己株式の取得による支出により資金が減少しましたが、短期借入による収入により15億51百万円の資金収入(前年同期は90億63百万円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、内需にけん引される形で、緩やかな景気回復が続く見通しではありますが、貿易摩擦に伴う世界経済の減速懸念など海外リスク要因を抱えたまま推移していくものと予想されます。

貨物自動車運送業界におきましては、ドライバー不足、働き方改革による労働環境の改善や安全・環境対策などの諸課題により、厳しい経営環境が続くものと懸念されています。

こうしたなか当社グループにおきましては、運送事業では、引き続き運賃・料金の契約内容見直しと新サイズ運賃の適用に努め、合わせて多様な輸送力を確保し、輸送品質と生産性の向上に取り組んでまいります。また流通加工事業では、稼働率の向上による収益性の改善に努め、国際事業では、国内外の連携をより強化し営業エリアの拡大を図るなど、各事業におきまして生産性及び収益性を重視し、付加価値の高いサービスの提供に努めてまいります。

以上により、連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	293,400	19,800	20,900	14,300	289.14
今回修正予想(B)	293,200	20,200	21,300	13,100	262.93
増減額(B-A)	△200	400	400	△1,200	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,907	23,414
受取手形及び売掛金	41,709	38,896
その他	3,559	3,845
貸倒引当金	△90	△77
流動資産合計	73,085	66,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	244,949	245,371
減価償却累計額	△154,092	△156,534
建物及び構築物(純額)	90,857	88,836
機械装置及び運搬具	90,186	95,751
減価償却累計額	△73,088	△76,164
機械装置及び運搬具(純額)	17,098	19,587
工具、器具及び備品	14,501	14,350
減価償却累計額	△11,516	△11,619
工具、器具及び備品(純額)	2,985	2,730
土地	197,163	204,030
建設仮勘定	1,664	5,806
有形固定資産合計	309,769	320,992
無形固定資産		
その他	5,810	5,811
無形固定資産合計	5,810	5,811
投資その他の資産		
投資有価証券	45,270	46,465
繰延税金資産	3,157	3,190
その他	3,013	2,941
貸倒引当金	△214	△194
投資その他の資産合計	51,227	52,402
固定資産合計	366,807	379,206
資産合計	439,893	445,284

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,216	16,379
短期借入金	10,850	15,840
1年内返済予定の長期借入金	5,727	9,945
リース債務	26	26
未払法人税等	4,596	3,708
未払消費税等	3,196	2,022
賞与引当金	4,666	4,246
その他	15,953	13,724
流動負債合計	63,233	65,892
固定負債		
長期借入金	68,715	64,334
リース債務	74	61
繰延税金負債	8,350	8,808
再評価に係る繰延税金負債	23,688	23,688
退職給付に係る負債	22,012	22,225
関係会社事業損失引当金	112	86
資産除去債務	500	503
その他	828	2,611
固定負債合計	124,281	122,318
負債合計	187,515	188,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	39,250	39,257
利益剰余金	144,931	150,691
自己株式	△16,884	△18,646
株主資本合計	197,607	201,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,093	17,711
土地再評価差額金	34,411	34,411
為替換算調整勘定	10	△13
退職給付に係る調整累計額	△281	△197
その他の包括利益累計額合計	51,234	51,912
非支配株主持分	3,535	3,549
純資産合計	252,377	257,073
負債純資産合計	439,893	445,284

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	138,626	144,885
売上原価	124,885	129,467
売上総利益	13,740	15,417
販売費及び一般管理費	4,061	4,205
営業利益	9,679	11,211
営業外収益		
受取配当金	589	623
補助金収入	440	208
その他	261	380
営業外収益合計	1,292	1,212
営業外費用		
支払利息	120	110
災害復旧費用	9	464
その他	40	132
営業外費用合計	169	707
経常利益	10,801	11,716
特別利益		
固定資産売却益	34	121
投資有価証券売却益	555	—
関係会社事業損失引当金戻入額	18	26
受取和解金	—	122
特別利益合計	607	270
特別損失		
固定資産除却損	101	91
役員弔慰金	—	1,000
和解金	—	48
特別損失合計	101	1,139
税金等調整前四半期純利益	11,307	10,847
法人税、住民税及び事業税	3,557	3,326
法人税等調整額	162	158
法人税等合計	3,720	3,485
四半期純利益	7,587	7,362
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,470	7,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	93
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,331	554
為替換算調整勘定	△26	△33
退職給付に係る調整額	92	84
その他の包括利益合計	2,397	605
四半期包括利益	9,985	7,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,846	7,946
非支配株主に係る四半期包括利益	138	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,307	10,847
減価償却費	6,441	7,660
引当金の増減額(△は減少)	122	△478
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	277	335
未払費用の増減額(△は減少)	△225	△1,822
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,207	△1,173
投資有価証券売却損益(△は益)	△555	—
役員弔慰金	—	1,000
その他	△1,155	△1,502
小計	15,004	14,865
利息の支払額	△120	△111
利息及び配当金の受取額	591	625
役員弔慰金の支払額	—	△1,000
法人税等の支払額	△3,990	△4,072
収用補償金の受取額	—	1,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,484	12,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,973	△17,350
有形固定資産の売却による収入	56	154
投資有価証券の取得による支出	△913	△401
投資有価証券の売却による収入	878	—
定期預金の預入による支出	△745	△753
定期預金の払戻による収入	751	754
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	545	—
その他	△841	△471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,240	△18,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	21,722	28,599
借入金の返済による支出	△28,448	△23,756
配当金の支払額	△1,287	△1,518
自己株式の取得による支出	△1,033	△1,763
その他	△17	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,063	1,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,846	△4,491
現金及び現金同等物の期首残高	30,382	26,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,536	22,251

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	121,773	8,531	4,455	134,761	3,865	138,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	5,175	5,175
計	121,773	8,531	4,455	134,761	9,041	143,802
セグメント利益	9,006	1,106	288	10,402	1,299	11,701

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,402
「その他」の区分の利益	1,299
全社費用(注)	△2,022
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,679

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	127,828	8,726	4,373	140,928	3,956	144,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	4,176	4,176
計	127,828	8,726	4,373	140,928	8,133	149,062
セグメント利益	10,342	1,275	247	11,864	1,347	13,212

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,864
「その他」の区分の利益	1,347
全社費用(注)	△2,000
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	11,211

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。